

アレス・グローバル・ハイイールド債券ファンド

(為替ヘッジなし／年1回決算型) (為替ヘッジなし／年4回決算型)

追加型投信／内外／債券



三井住友DSアセットマネジメント

Be
Active.

“プライベート・クレジットの先駆者”アレス・マネジメント*

日本で初めて投資家向けに投資戦略を提供

*以下、アレスといいます



- 1997年に設立された世界有数のオルタナティブ投資運用会社
- 米国を中心に世界各地の35を超える拠点に1,000人超の運用プロフェッショナル
- **世界トップクラス**のプライベート・クレジット(公開市場で取引されない債務証券やローン)運用の資産残高
- 資金調達手段が限られた企業へのファンディングを支えてきたアレスはハイールド債券運用でも優れた運用実績を誇る

企業のファンディングを担ってきた アレスのハイールド債券運用

主な資金調達方法

プライベート・デット

ハイールド債券

投資適格債券

プライベート・エクイティ

株式

高

資金調達の難易度

低

低

信用力

高

(イメージ図)

投資対象企業の信用力の調査が
より重要な資産クラス



アレスが専門とする領域

アレスの運用資産残高の推移

2024年6月末現在

計**4,470**億米ドル
(約**72兆**円)

その他

セカンダリー

実物資産

他社比較で良好な実績

アレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略は競合の中でも良好なパフォーマンスを残しています。

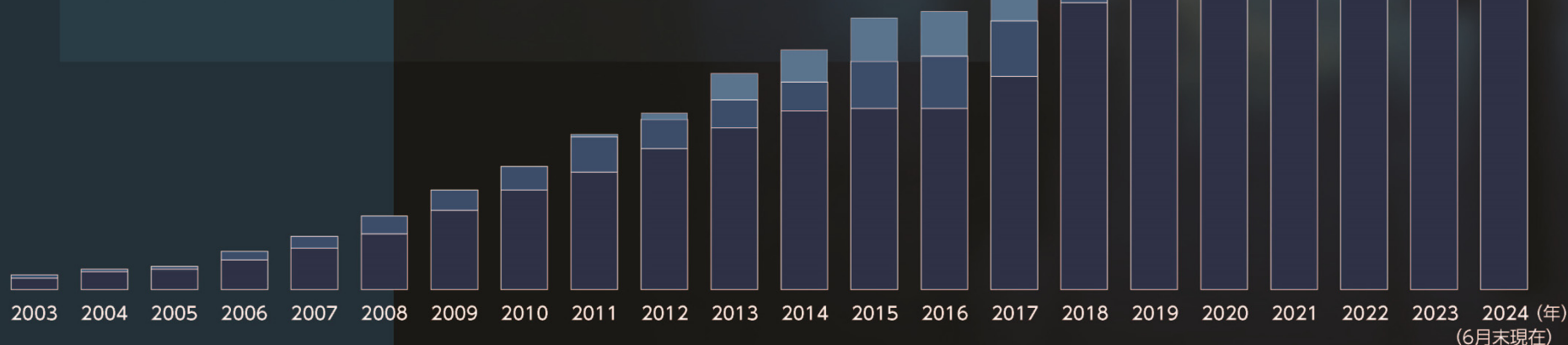
★ アレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略

- 第1四分位
- 第2四分位
- 第3四分位
- 第4四分位

アレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略のピア比較 (年率リターン)



*類似戦略で運用している各本数のリターンを四分分したもので、上位に位置するほど良好といえます。



プライベート・エクイティ

クレジット
(プライベート・デット、
ハイイールド債券など)

*「プライベート・エクイティ」…未上場株式を指します。「プライベート・エクイティ」を通じて、中小型規模の未上場企業への投資が行われることもあれば、大企業の子会社やノンコア事業の立て直しなどに用いられることもあります。

*「プライベート・デット」…銀行以外の主体による信用力の低い企業に対してローンの形態で行われる貸出しを指します。資本市場での資金調達に困難な中小企業が主な対象となっています。

(注1) 運用資産残高は1米ドル=160.85円で円換算。2024年6月末現在。(注2) ピア比較は信託報酬等控除前、米ドルベース。2024年6月末現在。(出所) アレス、eVestment、Bloombergのデータを基に委託会社作成

※ピア比較は当ファンドの運用戦略のベースとなるアレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略(業種の制限等が加わっていないもの)のパフォーマンスであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものでもありません。また残高推移は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。※上記のイメージ図は一般的なイメージを示したものであり、すべてのケースを網羅したものではありません。資金調達方法は明確に企業の信用力によって分類されるものではありません。

グローバル・ハイイールド債券の魅力

長期で見ると、株式に勝るとも劣らないパフォーマンス

- 長期で見るとグローバル・ハイイールド債券のリスクは、世界株式より低い水準でありながらリターンは同程度となっています。
- リスクに対するリターンが世界株式に比べて魅力的となっています。

各資産のパフォーマンス推移

1999年12月末～2024年8月末、月次

(ポイント)



(注1) 世界株式はMSCI AC World Index (配当込み)、グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Index、グローバル投資適格社債はICE BofA Global Corporate Index、世界国債はFTSE世界国債インデックス、いずれも米ドルベース。

(注2) リターンは当該期間の累積リターンを、リスクは月次リターンの標準偏差を、それぞれ年率換算して算出。

(出所) Bloomberg、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

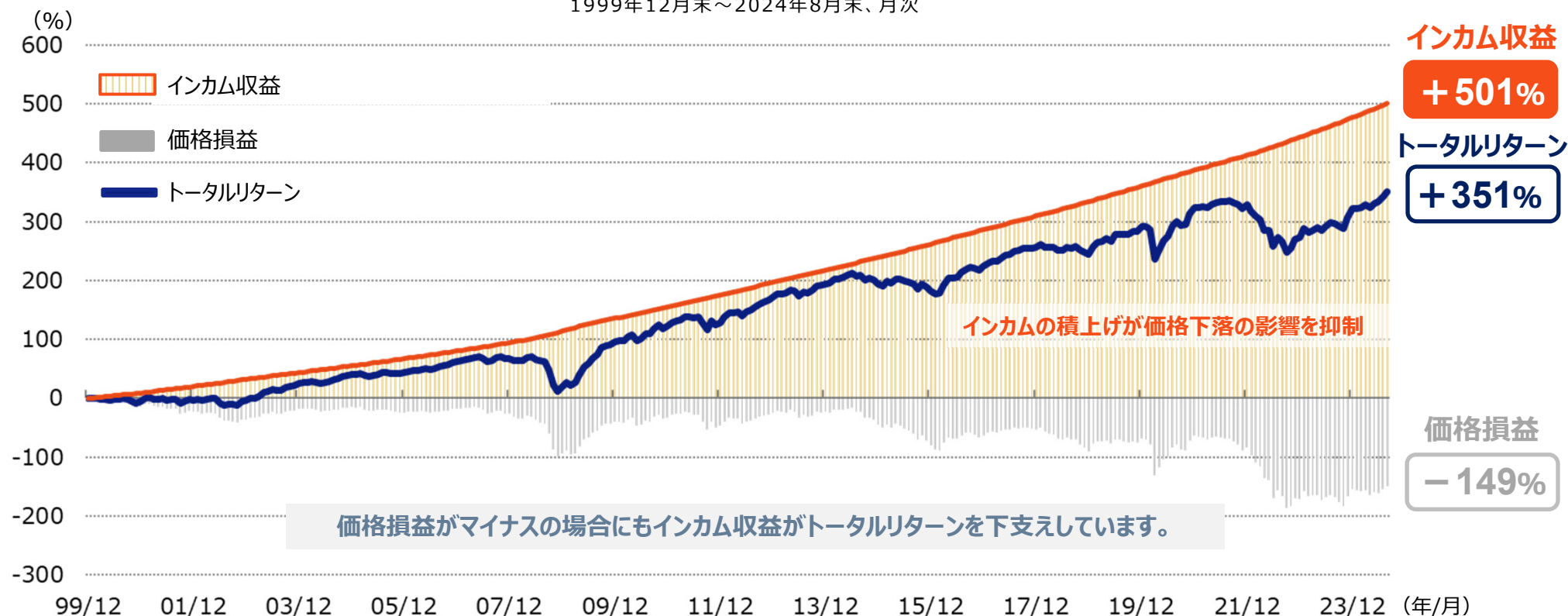
インカムのチカラ

インカム収益を積み上げて着実にリターンを獲得

- 中長期でインカム収益を積み上げることで、安定的なリターンの獲得が期待されます。
- 投資期間が長いほど、インカム収益が積み上がり、価格の下落によるトータルリターンの減少を抑制することが期待されます。

グローバル・ハイイールド債券のリターン内訳

1999年12月末～2024年8月末、月次



(注1) グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Index、米ドルベース。

(注2) トータルリターンの内訳は概算値です。価格損益には為替変動による影響も含まれます。四捨五入の関係上、合計が合わない場合があります。

(出所) FactSet、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

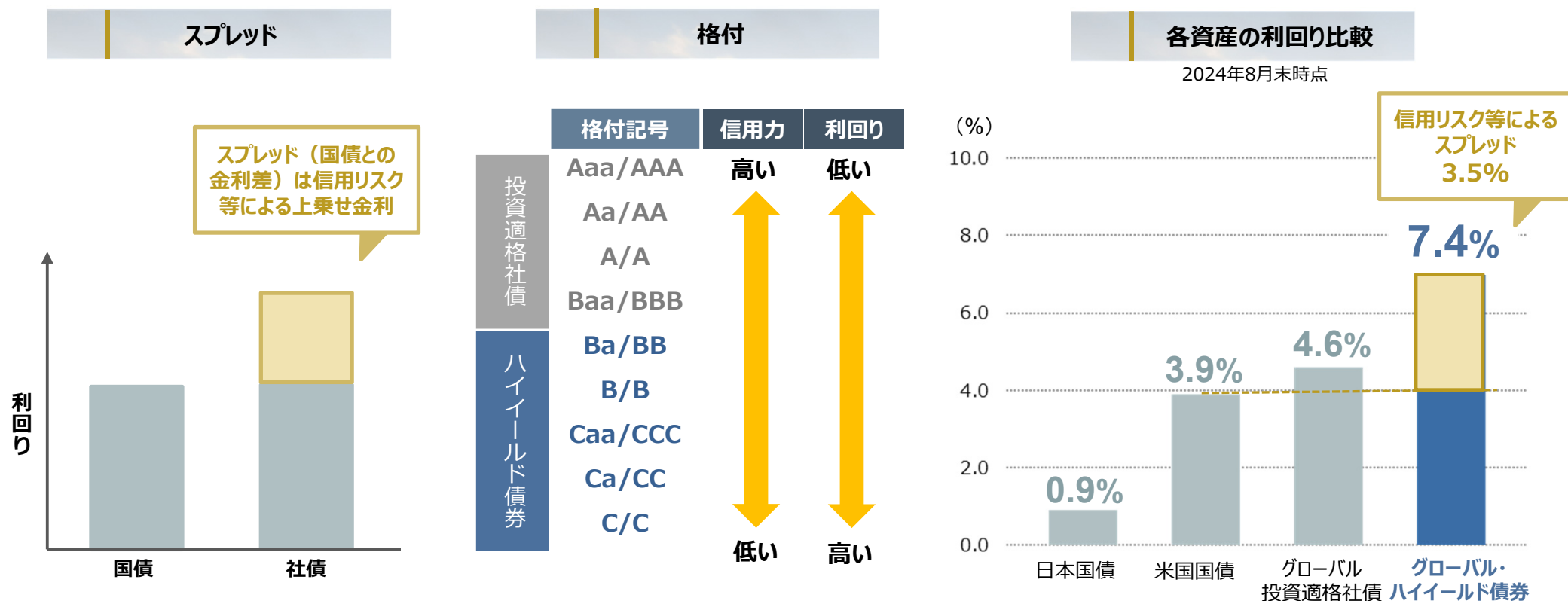
※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

ハイイールド債券とは？

他の債券と比較して相対的に高い利回り水準が魅力

- 一般的に、格付が低い（Ba/BB格相当以下）債券をハイイールド債券といいます。
- 投資適格社債と比べ、一般的に発行体の信用力が低い一方、利回りが高いという特徴があります。



* スプレッドと格付はイメージです。

(注1) 格付記号は、長期債務格付を示しています。

(注2) 日本国債は日本10年国債、米国国債は米国10年国債、グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Index、グローバル投資適格社債はICE BofA Global Corporate Index 最終利回りを使用。

(出所) Bloomberg, ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

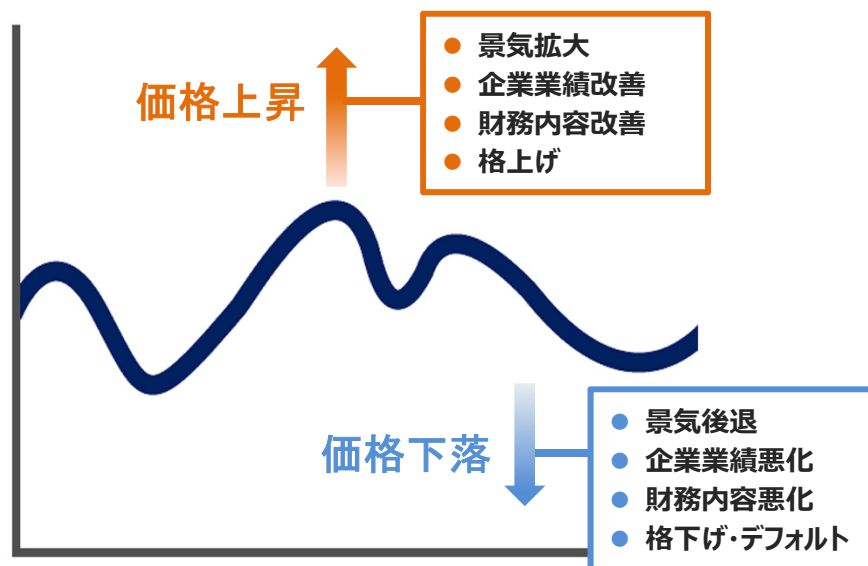
※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

一般的な債券と異なる動きをするハイイールド債券

景気の変動とハイイールド債券の値動きについて

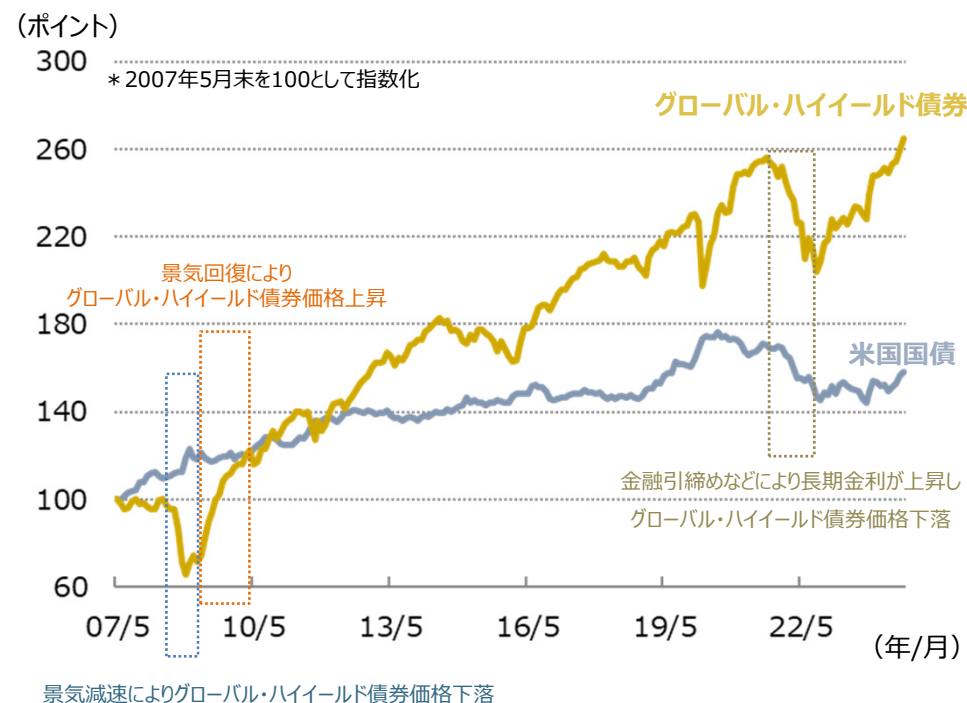
- 一般的に、景気の拡大期は金利が上昇（債券価格は下落）し、景気の後退期は金利が低下（債券価格は上昇）しますが、ハイイールド債券のスプレッドは景気拡大期に縮小（債券価格の上昇に寄与）し、後退期に拡大（債券価格の下落に寄与）します。
- こうしたスプレッドの変化が金利の変化を打ち消すことにより、ハイイールド債券の価格は景気の動向と同じ方向に動きやすくなります。ハイイールド債券は国債との相関が低く、リスク分散の効果が期待されます。

金利・企業業績と債券価格



米国国債とグローバル・ハイイールド債券の推移

2007年5月末～2024年8月末、月次



* 上記は一般的なイメージであり、実際には当てはまらない場合もあります。

(注) 米国国債はFTSE米国国債インデックス、グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Index（米ドルベース）。

(出所) Bloomberg、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

中長期投資に適したハイイールド債券

長期で投資することで、より安定的にリターンを獲得

- グローバル・ハイイールド債券に期間別で投資を行った場合、期間が長くなるほど安定的にリターンをあげる結果となりました。
- 特に10年間グローバル・ハイイールド債券へ投資した場合のリターンは、マイナスとなる期間はなく、すべてプラスとなりました。



(注1) グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Index、円ベース。

(注2) 保有期間別リターンは各月末時点における各保有期間の騰落率を基に算出。

(出所) Bloomberg、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※上記は過去のデータを基に委託会社が行ったシミュレーションおよび過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。シミュレーションは一定の前提条件に基づくものであり、経費等は考慮されていません。実際の運用においては、市場動向等の諸条件が異なることによりパフォーマンス等は大きく異なります。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

当ファンドの特色

1

主として世界のハイイールド債券に投資します。

- 運用にあたっては、個別債券の発行体に対する徹底したクレジット分析を行います。また、クレジット分析に加えて、ESGに着目した発行体分析も活用します。
- 投資先企業へのエンゲージメントを通じて、責任ある企業行動を促し、企業のESGリスク管理を強化します。

※投資対象とする外国投資信託は米ドル建てで運用されます。米ドル以外の通貨建ての債券等へ投資する場合には原則として対米ドルで為替取引を行うことにより米ドルに対する為替変動リスクの低減を目指します。

2

実質的な運用は、クレジット資産への投資に強みのあるアレス・マネジメントが行います。

- 世界のハイイールド債券の実質的な運用は、アレス・キャピタル・マネジメント II エルエルシーが行います。

3

実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

- 基準価額は為替変動の影響を受けます。

4

（年1回決算型）と（年4回決算型）の2つのファンドからお選びいただけます。

（年1回決算型）

- 原則として、毎年10月24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。

（年4回決算型）

- 原則として、毎年1、4、7、10月の24日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。なお、第2期決算日（2025年4月24日）から分配を行う予定です。

※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

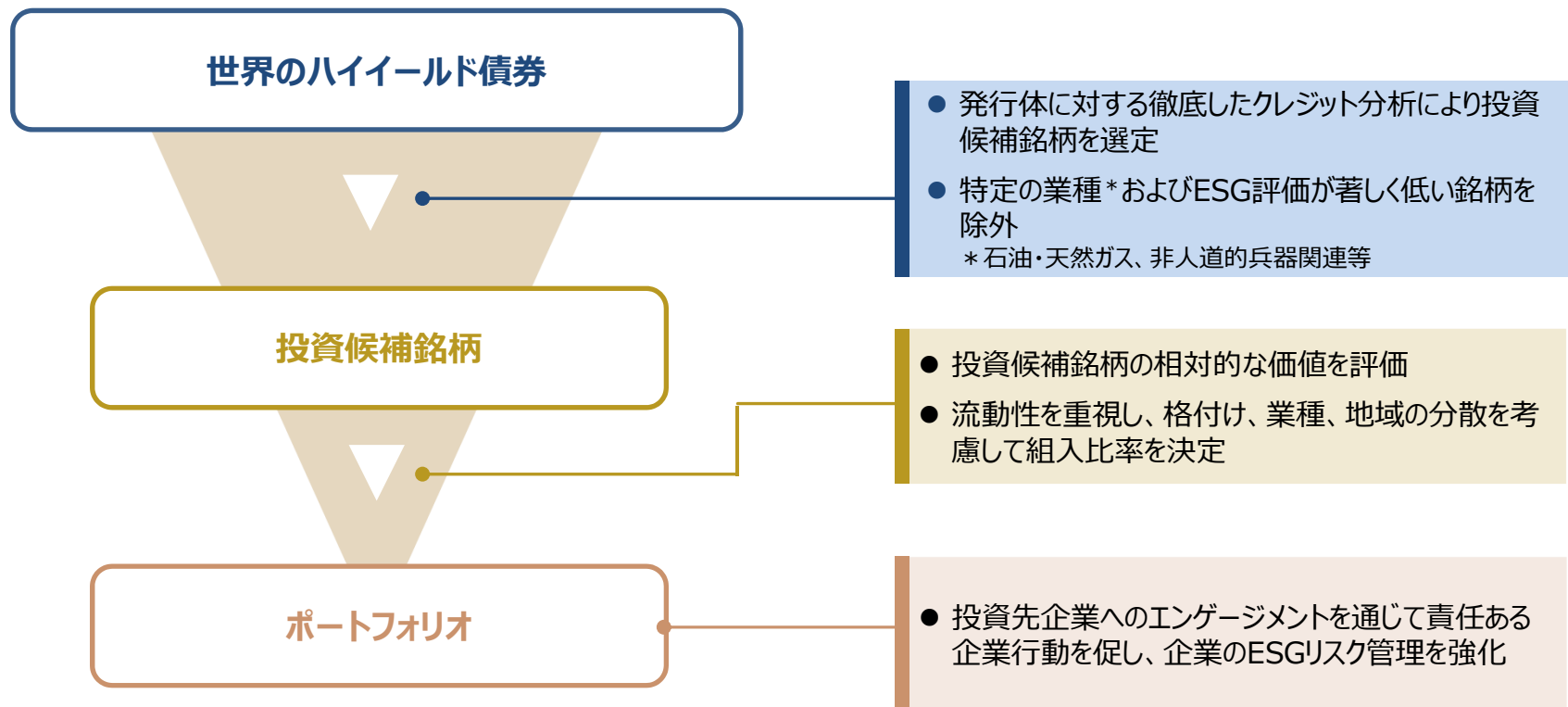
本書では、各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。

アレス・グローバル・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし／年1回決算型）：（年1回決算型）

アレス・グローバル・ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし／年4回決算型）：（年4回決算型）

運用プロセス

- 世界のハイールド債券の運用は、スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（UK）リミテッドからの一任を受け、アレス・マネジメント傘下のアレス・キャピタル・マネジメント II エルエルシーが行います。
- 平均運用経験年数24年超*のグローバル流動性クレジットチームが運用を行います。
* 2024年6月末現在



※上記の運用プロセスは作成基準日現在のものであり、今後変更される場合があります。

（出所）アレスの情報を基に委託会社作成

銘柄選択における着眼点(コア/オポチュニスティック)

コアとオポチュニスティックを組み合わせ、安定的な超過収益を生み出す

- アレスは、コアとオポチュニスティックの2つの観点から銘柄を選択します。

長期的視点 コア

持続性のあるビジネスモデルや業績の改善が期待される銘柄を長期的視点で保有します。

- 上向きの景気サイクルをもつセクターの割合を増やします。
- 景気の影響を受けにくい安定銘柄や社会的に必要性が高いデータセンターを手がけるソフトウェア銘柄などを保有します。

機動的視点 オポチュニスティック

決算やイベントなどを投資機会と捉え、機動的に銘柄を選択します。

- メディア銘柄の割合を増やした事例
2024年の米国大統領選の激戦を背景に、ローカルを含む全国的な広告市場が回復基調となったため。
- 住宅セクターの割合を増やした事例
金利上昇が住宅セクターに逆風であったものの、リフォーム需要は堅調で、建築資材販売会社の価格決定力が高いと考えられたため。



※上記はイメージです。

(注) 事例は2024年3月末時点。

(出所) アレスの情報を基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

投資対象銘柄のご紹介

長期的視点 コア

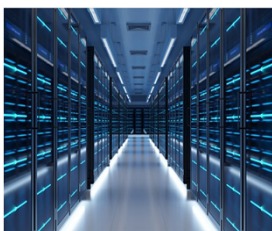


米国

アイアンマウンテン

不動産/クーポン4.875%

格付Ba3/満期日2029年9月15日



- 情報管理・データセンター。
- 同社は、再生可能エネルギーを積極的に利用するなど、環境面にも考慮してビジネスを展開しています。

長期的視点 コア



英国

ホーデンUKリファイナンス

保険/クーポン7.250%

格付B2/満期日2031年2月15日



- 世界各国の生命保険および損害保険会社に対して再保険仲介サービスを提供。
- 災害向け商品の提供など保険テクノロジーを活用したサステナビリティ問題への取り組みを行っています。

長期的視点 コア



米国

クラウド・ソフトウェア・グループ

テクノロジー・電機/クーポン6.500%

格付B2/満期日2029年3月31日



- 2022年にシトリックス・システムとTIBCOソフトウェアの合併により誕生。クラウド・ソリューション・プロバイダーの大手の一角を占めています。
- 同社は、通勤等によるエネルギー消費を低減するリモートワーク向けの仮想化技術を提供しています。

機動的視点 オポチュニスティック



米国

スペシャルティ・ビルディング・プロダクツ

サービス/クーポン6.375%

格付B3/満期日2026年9月30日



- 北米で事業を展開する建築資材会社。
- 金利上昇が住宅セクターに逆風をもたらすものの、リフォーム需要は比較的堅調で、建築資材の販売会社の価格決定力は高いと考えられます。

* 画像はイメージです。

(注1) 格付はMoody'sのものを採用しています。

(注2) 業種はICEの分類によるもの。

(出所) アレス、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※投資対象銘柄の例示を目的とするものであり、当ファンドにおいて上記の銘柄に投資するとは限りません。また、個別銘柄を推奨するものではありません。

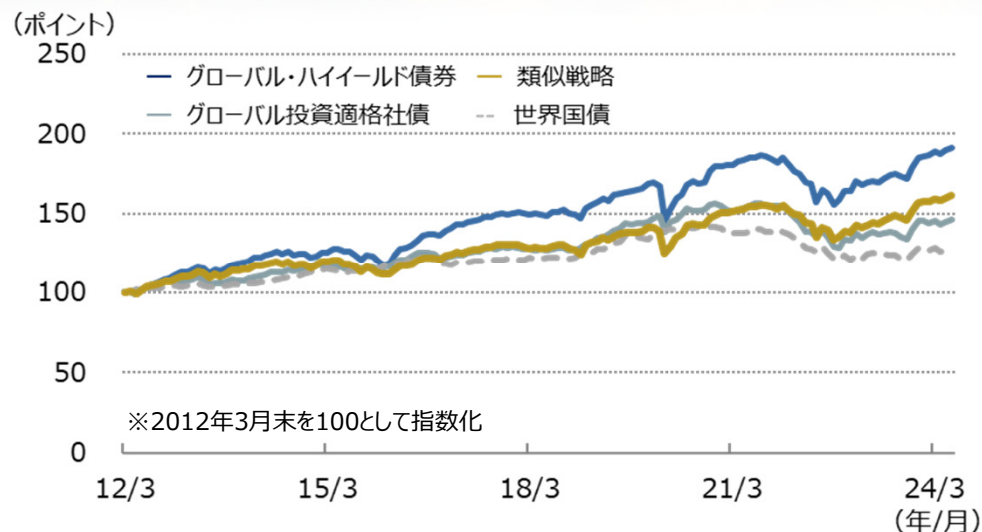
この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

アレスのグローバル・ハイイールド債券の運用戦略のパフォーマンス

類似戦略は当ファンドの運用戦略のベースとなるアレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略（業種の制限等が加わっていないもの）のパフォーマンスであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

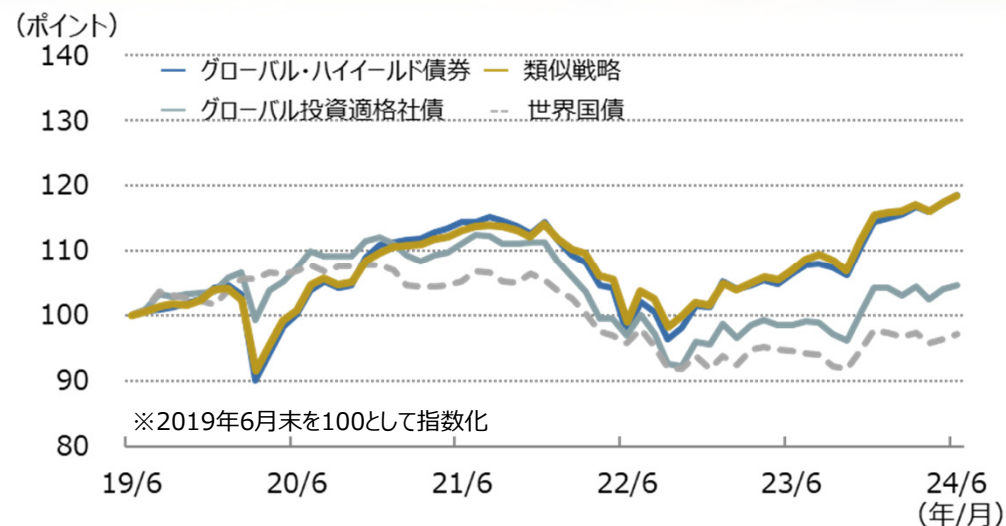
類似戦略*等のパフォーマンス推移

2012年3月末（運用開始日）～2024年6月末



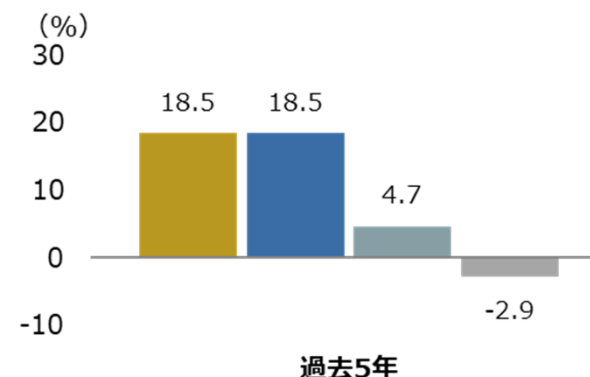
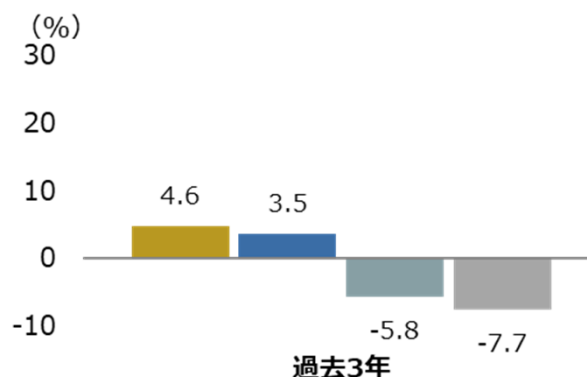
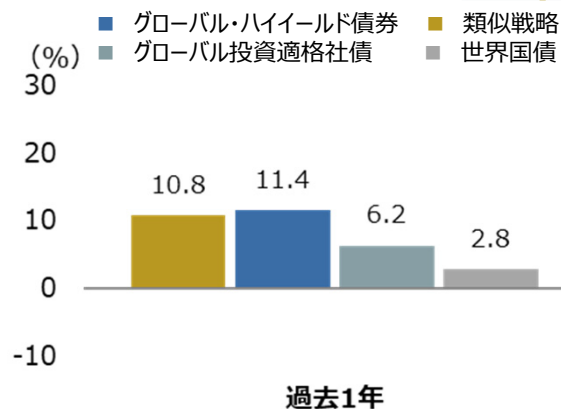
類似戦略*等のパフォーマンス推移（過去5年）

2019年6月末～2024年6月末



類似戦略*等の期間別騰落率

2024年6月末現在



* 類似戦略のパフォーマンスは、米ドル建て、当ファンドの実質的な信託報酬の上限である年1.833%（税込み）控除後。

（注）グローバル・ハイイールド債券はICE BofA Global High Yield Constrained Index（米ドルヘッジベース）、グローバル投資適格社債はICE BofA Global Corporate Index（米ドルヘッジベース）、世界国債はFTSE世界国債インデックス（米ドルヘッジベース）。

（出所）アレス、Bloomberg、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

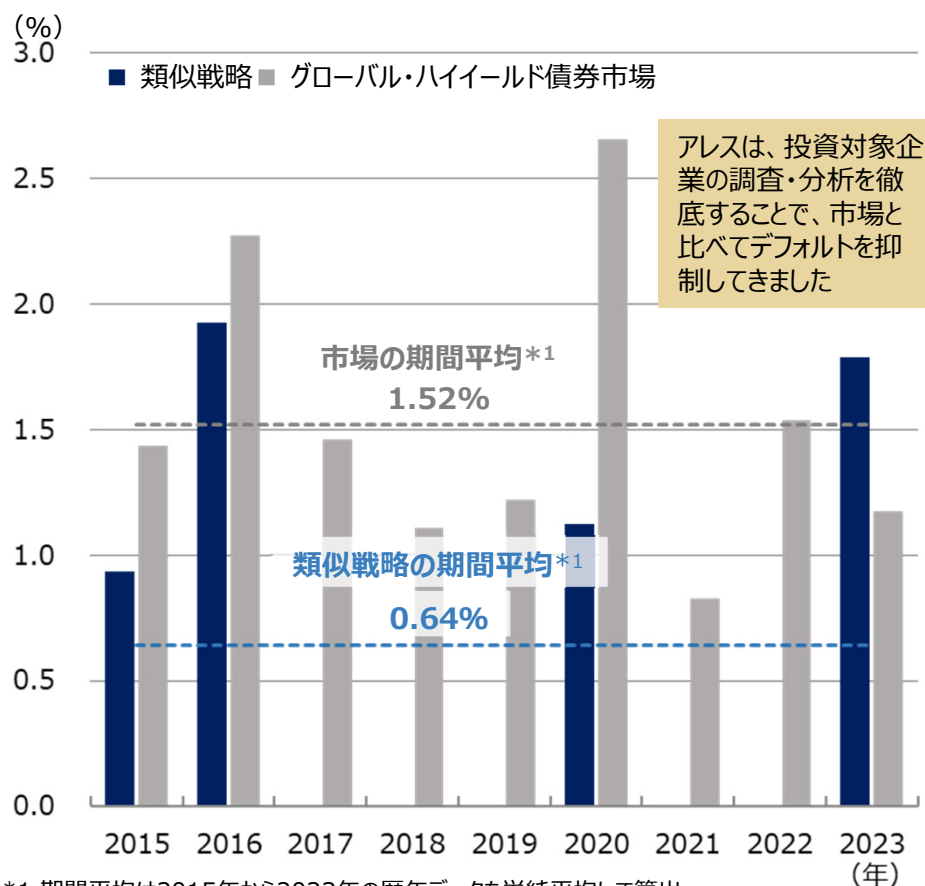
この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

市場平均を概ね下回るデフォルト率

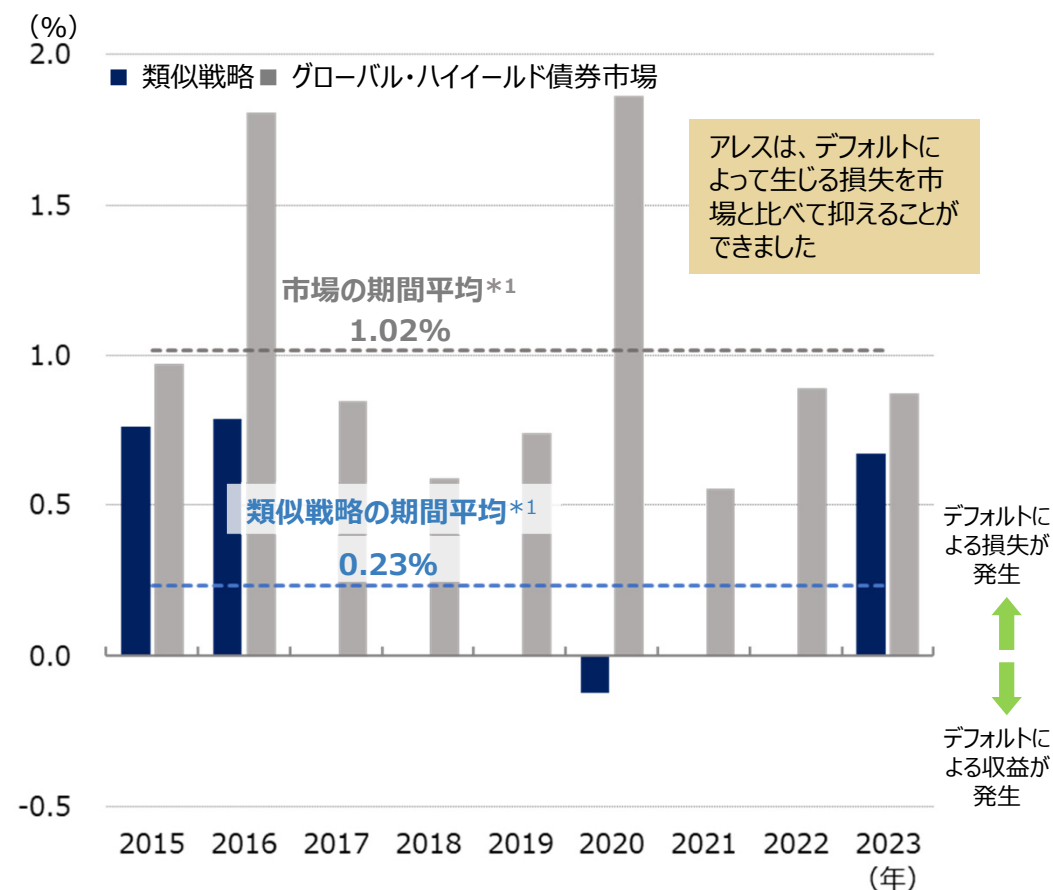
類似戦略は当ファンドの運用戦略のベースとなるアレスのグローバル・ハイイールド債券運用戦略（業種の制限等が加わっていないもの）のパフォーマンスであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

- デフォルト率とは、債券の元利金（利金および償還金）の支払ができなくなる銘柄の割合のことです。
- 市場のデフォルト率の上昇は企業の資金繰りが悪化、デフォルト率の低下は企業の資金繰りが改善していることを表しています。

デフォルト率の比較



損失率*2の比較



*1 期間平均は2015年から2023年の暦年データを単純平均して算出。

*2 損失率はデフォルト率×（1-回収率）にて算出。デフォルトによる収益発生とは、追加出資するなどして資本回収率を引き上げ収益となったもの。

（注）グローバル・ハイイールド債券市場はICE BofA Global High Yield Constrained Indexを参照。

（出所）アレス、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

ポートフォリオ概要①(2024年7月末現在)

※当ファンドの組入ファンドの実質的な運用を行うアレスから提供を受けた「SMD-AM アレスESG エンハンスド・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド」のデータを掲載しております。

ポートフォリオ概況

特性値	
クーポン	5.3%
残存年数	4.5年
デュレーション	3.1年
最終利回り	7.0%
平均格付	B2

※ポートフォリオ概況の各数値はポートフォリオが保有する各銘柄の数値を加重平均した値です。

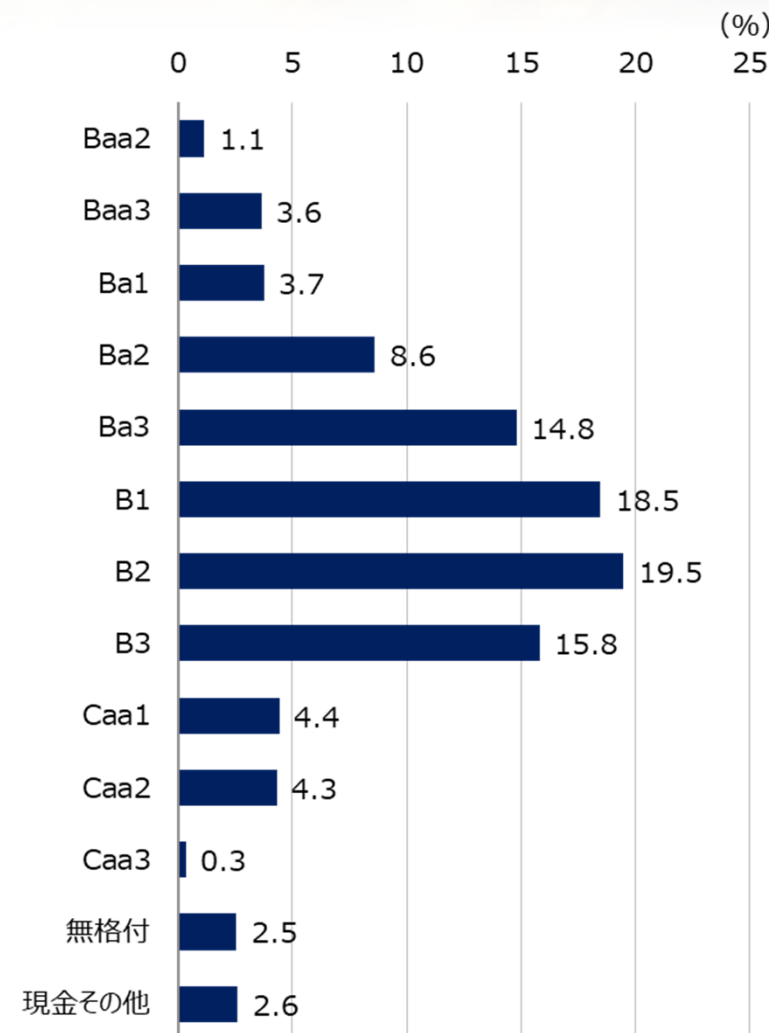
通貨別構成比率

通貨	(%)
米ドル	73.2
ユーロ	20.4
英ポンド	3.9
現金その他	2.6

国・地域別構成比率

国・地域	(%)
米国	69.8
欧州	17.9
英国	7.6
北米	1.1
その他	0.9
現金その他	2.6

格付別構成比率



(注1) 格付はMoody'sのものを用いています。

(注2) 平均格付とは、ポートフォリオが保有している証券にかかる信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

(注3) 米ドル建て以外の通貨は米ドルヘッジ前です。

(注4) 構成比率は、ポートフォリオの純資産総額を100%として計算しています。数値は四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

(出所) アレスのデータを基に委託会社作成

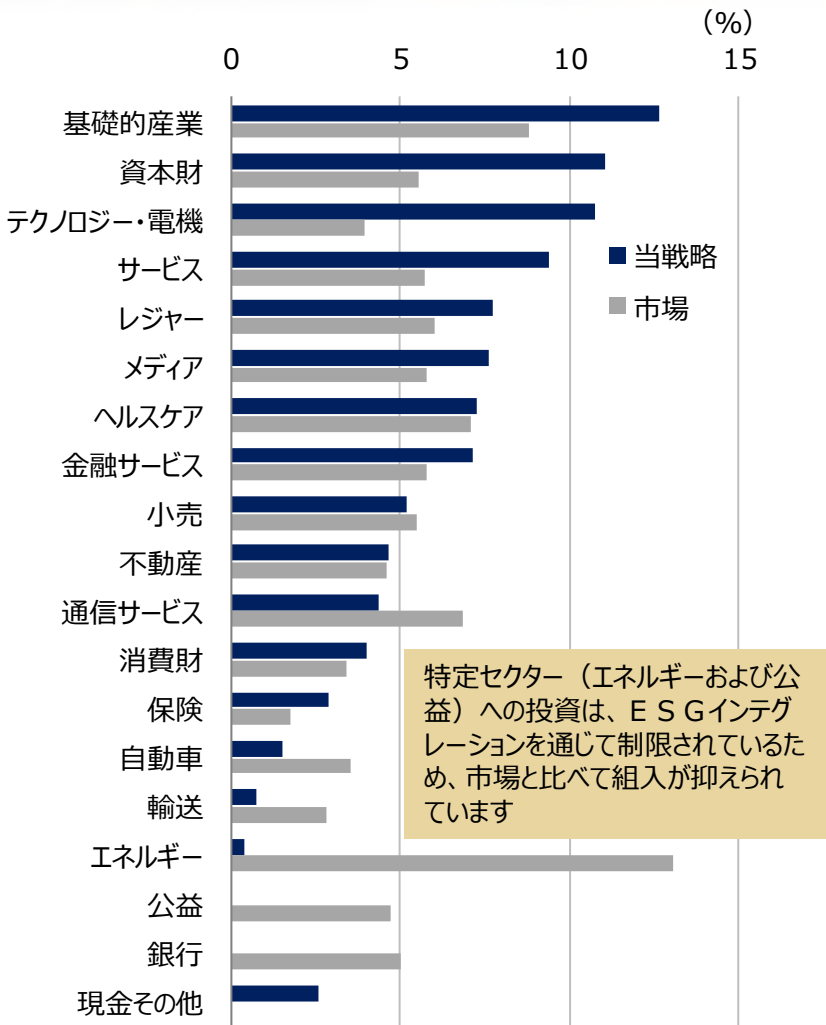
※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

ポートフォリオ概要②(2024年7月末現在)

※当ファンドの組入ファンドの実質的な運用を行うアレスから提供を受けた「SMD-AM アレスESG エンハンスド・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド」のデータを掲載しております。

業種別構成比率



(注1) 格付はMoody'sのものを用いています。
(注2) 業種はICEの分類によるもの。
(注3) 構成比率は、ポートフォリオの純資産総額を100%として計算しています。
(出所) アレス、ICE Data Indices, LLCのデータを基に委託会社作成

組入上位10銘柄

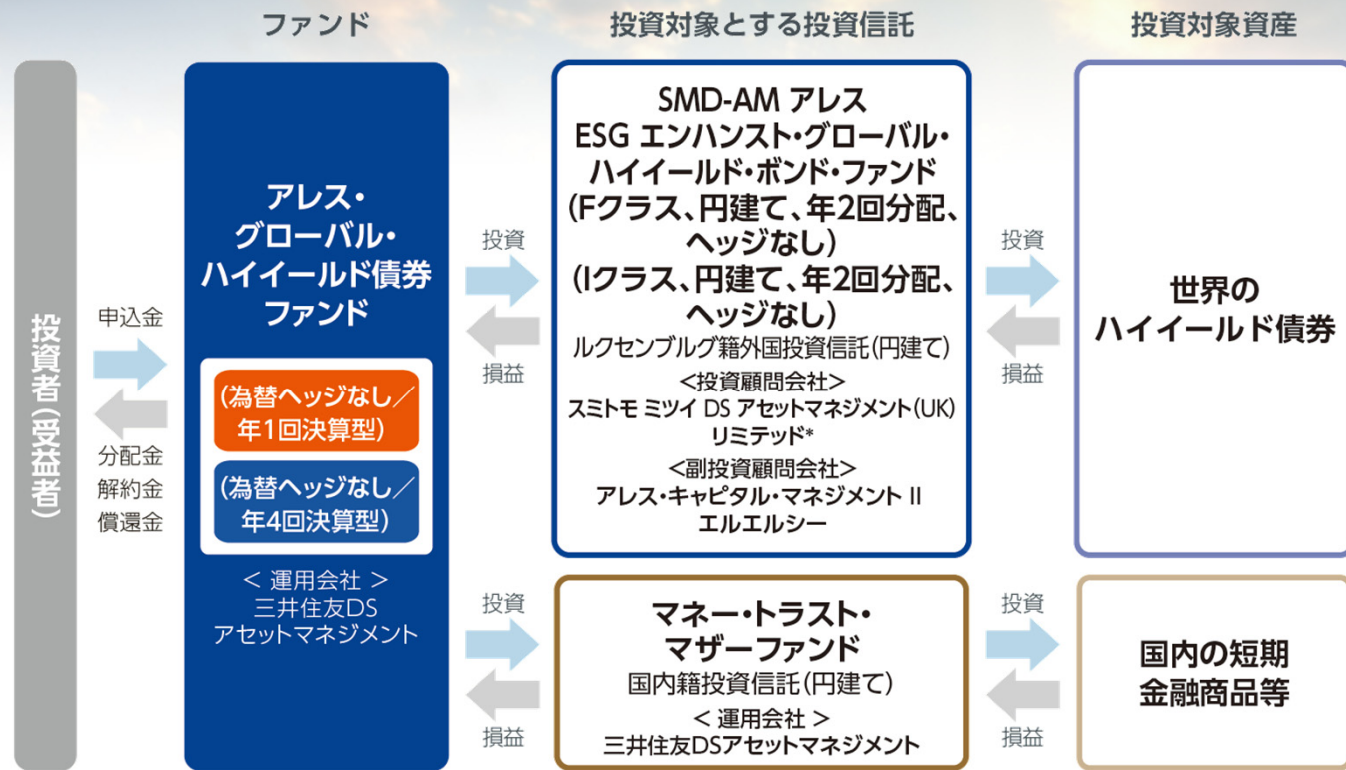
(組入銘柄数：119)

	銘柄	通貨	国	業種	償還日	クーポン (%)	格付	比率 (%)
1	アイアンマウンテン	米ドル	米国	不動産	2029/9/15	4.875	Ba3	1.28
2	サミット・マテリアルズ	米ドル	米国	基礎的産業	2031/1/15	7.250	Ba3	1.24
3	バス&ボディーワークス	米ドル	米国	小売	2035/11/1	6.875	Ba2	1.20
4	シールドエアー	米ドル	米国	資本財	2028/2/1	6.125	Ba2	1.19
5	ホーデンUKリファイナンス	米ドル	英国	保険	2031/2/15	7.250	B2	1.19
6	OCI	米ドル	オランダ	基礎的産業	2025/10/15	4.625	Baa3	1.17
7	ブルックフィールド・プロパティール・REIT	米ドル	米国	不動産	2026/5/15	5.750	B1	1.17
8	CFインダストリーズ	米ドル	米国	基礎的産業	2034/3/15	5.150	Baa2	1.17
9	スペシャルティ・ビルディング・プロダクツ	米ドル	米国	サービス	2026/9/30	6.375	B3	1.17
10	グリーン・ハーバース	米ドル	米国	サービス	2027/7/15	4.875	Ba3	1.16

※2024年7月末現在の組入上位銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄に投資するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。
※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドのしくみ

- ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。



* スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント (UK) リミテッドは委託会社の子会社 (100%出資) です。

※SMD-AM アレス ESG エンハンスド・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド (Fクラス, 円建て, 年2回分配, ヘッジなし) および (Iクラス, 円建て, 年2回分配, ヘッジなし) の合計の組入比率を原則として高位に保ちます。したがって、ファンドの実質的な主要投資対象は世界のハイイールド債券となります。

●原則として、当初は初期投資家向けに運用報酬が低く設定されたFクラスへ投資を行い、Fクラスの純資産が上限の2億米ドルに達した後はIクラスへ投資を行います。各クラスの詳細については、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

ファンドは、委託会社が定義する「ESG投信」に該当しません。

委託会社は、「投資判断におけるサステナビリティ要素の考慮の手法」と「運用戦略におけるサステナビリティ要素の重要度」を基に、サステナブルプロダクトを認定し、このうち、「ポジティブスクリーニング」、「ESGテーマ型」および「インパクト」に分類したファンドを「ESGプロダクト (ESG投信)」と定義しています。

ファンドが投資対象とする外国投資信託は、名称に「ESG」を含んでおり、また、運用にあたっては、他の投資判断基準に加えてサステナビリティを重要な超過収益源の一つと位置付け、ESG評価を定量的、体系的に活用していますが、委託会社が定義する「ESG投信」に該当しません。

委託会社におけるESG投信の定義および該当ファンドは、ESG投信の規制動向、ESGに関する国内外の情勢、委託会社の認定基準の見直し等により、今後、変更となる場合があります。

委託会社のサステナブルプロダクト認定基準およびモニタリング状況については、以下をご覧ください。

<サステナブルプロダクト認定基準> https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible_investment/esg/integration/table/

<モニタリング状況> https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible_investment/esg/integration/table/pdf/esg_product_monitor.pdf

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた**利益および損失は、すべて投資者に帰属**します。
- 投資信託は**預貯金と異なります**。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 価格変動リスク

● 債券市場リスク…債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。

ハイイールド債券は、一般的に高格付けの債券と比べて高い利回りを享受できる一方で、発行体からの元利金支払いの遅延または不履行（デフォルト）となるリスクが高いとされます。デフォルトあるいはその懸念が生じた場合、ハイイールド債券の価格は大きく下落し、ファンドの基準価額が下落するおそれがあります。

■ 信用リスク…債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク…円高は基準価額の下落要因です

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク…投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク…市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

■ 外国投資信託証券への投資に関する留意点

- 外国投資信託証券から有価証券に投資する場合、日本の投資信託証券から投資を行う場合に比べて税制が不利になる場合があります。

■ 投資信託に関する留意点

- ファンドのお申込みに関しては、クーリング・オフ制度の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

分配方針および分配金に関する留意事項

分配方針

(年1回決算型)

- 年1回（原則として毎年10月24日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。
 - 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(年1回決算型)は複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

(年4回決算型)

- 年4回（原則として毎年1月、4月、7月、10月の24日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。
 - 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(年4回決算型)は計算期間中の基準価額の変動にかかわらず分配を行う場合があります。分配金額は運用状況等により変動します。
分配金額は計算期間中の基準価額の上昇分を上回る場合があります。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

お申込みメモ(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

購入・換金の申込受付日	当初申込期間：2024年10月15日から2024年10月25日まで 設定日（2024年10月28日）以降は、原則として、申込不可日を除きいつでも購入・換金のお申込みができます。
購入単位	お申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額（当初申込期間は1口当たり1円）
換金単位	お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込不可日	以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。 ● ニューヨークの取引所の休業日 ● ニューヨークの銀行の休業日 ● ロンドンの取引所の休業日 ● ロンドンの銀行の休業日 ● ルクセンブルグの取引所の休業日 ● ルクセンブルグの銀行の休業日（半休日を含む）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付中止や既に受け付けた購入・換金申込みの取消しをする場合があります。
信託期間	無期限（2024年10月28日設定）
繰上償還	当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなったときは、繰上償還します。また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 ● 繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ● 各ファンドの残存口数が30億口を下回ることとなったとき ● その他やむを得ない事情が発生したとき
決算日	（年1回決算型）毎年10月24日（休業日の場合は翌営業日） （年4回決算型）毎年1月、4月、7月、10月の24日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	（年1回決算型）年1回決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。） （年4回決算型）年4回決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。（委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。）
課税関係	● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ● 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 ● 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ● 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※上記は、作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。
スイッチング	販売会社によっては、（年1回決算型）および（年4回決算型）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。 また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用等(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

① 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <u>3.3% (税抜き3.0%)</u> を上限として、販売会社毎に定めた率を乗じて得た額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。 購入時手数料は販売会社によるファンドの募集・販売の取扱い事務等の対価です。
信託財産留保額	ありません。

② 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	ファンドの純資産総額に <u>年1.133% (税抜き1.03%)</u> の率を乗じた額とします。
	投資対象とする投資信託	年0.5%～年0.7%程度*
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に対して <u>年1.633%～年1.833% (税抜き1.53%～1.73%) 程度*</u>
	* 投資対象とする投資信託の運用管理費用は、料率が把握できる費用の合計であり、上記以外の費用がかかる場合があります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の追加的記載事項をご覧ください。 上記の料率は、作成基準日現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。	
その他の費用・手数料	以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。 ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 ※ 上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■ 委託会社、その他の関係法人

委託会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図等を行います。)
受託会社	株式会社SMBC信託銀行(ファンドの財産の保管および管理等を行います。)
販売会社	委託会社にお問い合わせください。(ファンドの募集・販売の取扱い等を行います。)

重要な注意事項

- 当資料は三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。投資信託説明書（交付目論見書）、目論見書補完書面等は販売会社にご請求ください。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2024年8月末

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 ご不明な点は下記にお問い合わせください。

<コールセンター> 0120-88-2976 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

<ホームページ> <https://www.smd-am.co.jp>

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込み



東洋証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■ 資料の作成、設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会